
利根川新橋シンポジウム

～ 新橋は前橋と玉村を変える！ ～

報告書

令和元年9月23日（月・祝） 16:00～18:00

群馬県JAビル 大ホール

主催：前橋市 玉村町

後援：前橋商工会議所 玉村町商工会

1 趣 旨

前橋市下阿内町と玉村町板井を結ぶ利根川新橋の建設構想について、交通・医療・防災・経済等の面から橋がもたらす効果について考える。

2 テーマ

新橋は前橋と玉村を変える！

3 主 催

前橋市、玉村町

4 後 援

前橋商工会議所、玉村町商工会

5 日 時

令和元年9月23日（月・祝） 16:00～18:00

6 場 所

群馬県JAビル 大ホール（前橋市亀里町1310番地）

7 参加人数

約470名

（参考）

群馬県議会議員 3名（中沢丈一氏、井田泉氏、小川晶氏）

前橋市議会議員 4名

玉村町議会議員 13名

8 プログラム

16:00 開会

主催者挨拶 前橋市長 山本 龍
玉村町長 角田 紘二

基調講演

16:10 講演1 「新橋は前橋と玉村の交通を変える！」

森田 哲夫 氏（前橋工科大学 工学部 社会環境工学科 教授）

16:30 講演2 「橋によって玉村町と前橋市の医療はこう変わる」

町田 浩志 氏（前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 副部長）

～～ 休憩（約10分） ～～

17:00 パネルディスカッション（60分）

テーマ 「新橋は前橋と玉村を変える！」

コーディネーター

森田 哲夫 教授

パネラー

山本 龍 （前橋市長）

角田 紘二 （玉村町長）

曾我 孝之 （前橋商工会議所会頭）

徳江 光俊 （玉村町商工会副会長）

中野 実 （前橋赤十字病院院長）

18:00 閉会

9 開催記録

○会場風景



約470名の方にご参加いただき、会場は満席となりました。

開会前にはCGによる新橋のイメージ動画や周辺状況のドローンによる撮影動画を上映しました。

○パネル展示風景



ロビーでは、新橋周辺のドローン撮影による写真や県央地区における4車線道路のネットワーク図などのパネルを展示しました。

○主催者挨拶

前橋市長 山本 龍



山本市長からは、「ここに集まる一人一人の力で新橋建設を実現していきたい。長年の悲願であった新橋建設に向けてのスタートに立った。新橋の必要性について皆さんと学びたい。」と挨拶がなされました。

玉村町長 角田 紘二



角田町長からは、「新橋建設については、平成10年から協議会を立ち上げて県に要望してきたが、未だに実現に至っていない。今回の新しい運動に対して、皆さんの後押しをお願いしたい。」と挨拶がなされました。

○基調講演1 「新橋は前橋と玉村の交通を変える！」

森田 哲夫 氏（前橋工科大学 工学部 社会環境工学科 教授）



基調講演1では、森田教授により、交通の面から新橋の必要性について説明がなされました。前橋市、玉村町だけでなく、新橋によって前橋市から藤岡市までを結ぶ広域的な交通ネットワークを構築する重要性について強調されました。

○基調講演 2 「橋によって玉村町と前橋市の医療はこう変わる」

町田 浩志 氏（前橋赤十字病院 集中治療科・救急科 副部長）



基調講演 2 では、町田医師により、医療圏についての説明があり、新橋によって救急搬送時間が約 6 分間短縮できる試算が示されました。「新橋によって医療のスピード化が図れる」と新橋建設の意義について強調されました。

○パネルディスカッション「新橋は前橋と玉村を変える！」

コーディネーター：森田 哲夫 教授

パネラー：山本 龍（前橋市長） 角田 紘二（玉村町長）

曾我 孝之（前橋商工会議所会頭） 徳江 光俊（玉村町商工会副会長）

中野 実（前橋赤十字病院院長）



パネルディスカッションでは、行政、医療、経済の立場から新橋の必要性について議論がなされました。

また、事前受付や会場の方からの質問について、パネラーから回答がなされました。

行政面では、山本市長が「橋を架けること事体が目的ではなく、それにより新しいものを生み出すことが重要」と強調され、角田町長は「新たな交通ネットワークにより、自治体間の連携が強化される」と強調されました。

医療面では、中野院長が「新橋により、今まで助からなかった命を助けられる可能性がある」と強調されました。

経済面では、曾我会頭が「新橋は商工業だけでなく、観光の面でも重要な橋である」と述べられ、徳江副会長からは「優秀な人材の確保・定住促進につながる」との意見があり、早期の事業着手を望む声が上がりました。